

2026 年度 編入学・転入学試験（第Ⅰ期 3 年次・一般）試験問題

1) 3 年次編入学・転入学試験

※英和辞典 1 冊と六法全書 1 冊（判例または解説付きでないもの）の参照許可（電子辞書は可）。

① 試験科目：法学（1・2 部共通）

→受験者なしにより作問していないため、公表していません。

② 試験科目：政治学（1・2 部共通）

→受験者なしにより作問していないため、公表していません。

③ 試験科目：英語（1 部）

→受験者なしにより作問していないため、公表していません。

2026 年度 編入学・転入学試験（第Ⅱ期 3 年次・一般）試験問題

1) 3 年次編入学・転入学試験

※英和辞典 1 冊と六法全書 1 冊（判例または解説付きでないもの）の参照許可（電子辞書は可）。

④ 試験科目：法学（1・2 部共通）

→受験者なしにより作問していないため、公表していません。

⑤ 試験科目：政治学（1・2 部共通）

→受験者なしにより作問していないため、公表していません。

⑥ 試験科目：英語（1 部）

→受験者なしにより作問していないため、公表していません。

2026 年度 編入学・転入学試験（第Ⅱ期 2 年次・一般）試験問題

1) 2 年次編入学・転入学試験

※英和辞典 1 冊と六法全書 1 冊（判例または解説付きでないもの）の参照許可（電子辞書は可）。

⑦ 試験科目：法学入門（1・2 部共通）

（試験問題）

1. 六法について、次の問いに答えよ。

- (1) 六法とは何を指すかを示せ。
- (2) 公法と私法、実体法と手続法の区分にしたがって六法を分類せよ。

2. 法の存在形式について、次の問いに答えよ。

- (1) 法源とは何かを簡潔に説明せよ。
- (2) 成文法と不文法について、それぞれ具体例をあげながら説明せよ。

（解答又は解答例）

1.

- (1) 六法とは、憲法・刑法・民法・商法・刑事訴訟法・民事訴訟法を指す。
- (2) 公法に分類されるものとしては、憲法、刑法、刑事訴訟法、民事訴訟法がある。私法に分類されるものとしては民法と商法がある。実体法に分類されるものとしては、憲法、刑法、民法、商法がある。手続法に分類されるものとしては、刑事訴訟法、民事訴訟法がある。

2.

- (1) 法源とは、裁判官が判決を導くにあたって拘束され準拠すべきとされる規準であり理由となるものである。通常は、法を適用するにあたって法として援用しうる法形式を意味する。とくに、裁判官が判決理由でそれを援用して裁判の理由となしうる法形式を意味する。
- (2) 成文法とは文書の形で制定された法規範のことである。不文法とは文書として制定されたわけではない法規範を指す。成文法、すなわち制定法としては日本国憲法のほか国家によって定められた諸々の法律、たとえば民法や刑法など、あるいは地方自治体によって制定された個々の条例や規則などを考えることができる。これに対して、不文法としては慣習法や判例法をあげることができる。慣習法とは国家によって制定されたのではないが人々の間で広範に従われていて法的効力を有する慣習のことをいう。判例法とは、先例として参照されるべき過去の裁判例や判決例に含まれる法原則のうち先例拘束性が認められたものを指す。

（出題意図）

1. 六法についての基礎的理解を踏まえた上で、マッピングできるかどうかを問うものです。

2. 一般の人々や裁判官を拘束する実定法規範がどのような形式で存在するのかという法源についての理解を問うものです。

⑧ 試験科目：政治学入門（１・２部共通）

（試験問題）

以下の設問に答えよ（２問とも解答すること）。

- (1)「選挙（代議制民主主義）はオワコン（時代遅れの、終わったコンテンツ）」と言ってばからない A さんに対して、「代議制民主主義」を続ける意義やメリットを説明しなさい。
- (2)インターネットが政治に及ぼす影響について、プラス・マイナス両面を述べなさい。

（解答又は解答例）

(1)については、a)選挙を基本とする民主主義は、一人の君主による恣意的な政治や、内戦や内乱など暴力的手段による問題解決に比べて相対的にマシなものとして位置づけられる、すなわち、相手を殲滅すべき敵ではなく、競争におけるライバルに転換するという、という点で重要であること、b)選挙という擬似的な戦争は、一種のスポーツやお祭りに通ずる「楽しさ」の側面があることも無視できない、c)自分が生まれ落ちた政治コミュニティの「みんな」の一員として認められるメンバーシップの問題に結びつく、d)駆け引きや取引、妥協をしながら、多くの人間の生死にも関わりかねない政治的決定をするに必要な政治家の才能を備えた人を鍛え、教育し、選抜する（＝このような「汚れ仕事」を担う人材は、抽選で政治家を選ぶロトクラシーでは輩出できない）、といった要素が書けているか否かがポイントである。

(2)のインターネットがもたらすプラス面について言えば、誰もが容易に情報発信できることにより、多くの人に政治的な力を与える可能性を備えている。2010 年代初頭の「アラブの春」や「#MeToo 運動」に見られたように、インターネットによって人々の結び付きが促進されて、運動が一気に広まることもある。また、多様な意見や価値観を知る機会を提供して、他者への信頼や寛容を育むとの調査結果もある。しかし、その一方で、e)デマやフェイクニュース、ヘイトスピーチが広まりやすい、f)政治に関心のある層とない層の情報格差を一層拡大する、g)社会の分断や分極化をもたらす、といったマイナス面もある。特に、g)について言えば、インターネットでは「選択的接触」という特性により、政治について自分と似た意見の人を見つけるのが容易であり、似た者同士で交流するうちに意見が累乗的に過激になって、排他的・暴力的になる恐れもある。以上のような、プラス面・マイナス面を論じられるかが鍵である。

（出題意図）

(1)については、当該編入学・転入学試験が行われる直前の 2 月 8 日に総選挙が行われるが、中高年層に比して若年層の投票率は恒常的に低い傾向にある。若年層が投票所に赴かない理由として、選挙で自分たちの代表者を選んで政治に参画することに対する有効性感覚が乏しくなっていることがあろう。しかし、代議制民主主義の制度を排して、政治の営みを直接民主主義者、あるいは指導者民主主義（独裁政治）に委ねるという選択肢は、現実的ではない。ポピュリズムが猛威を振るい、議会制民主主義の形骸化が取り沙汰されるなかで、私たちは選挙を通じて政治に参画する意味を理解することがますます重要になっているとの認識に基づき、この出題となった。

(2)について言えば、政治や選挙に関する若年層の情報源は、新聞やテレビといったマスメディアで

はなく、YOUTUBE その他のインターネット媒体である。しかしながら、インターネット媒体に出てくる情報は、出題者の目から見て、目下の政治情勢を長期的というより短期的な視野、理性的というより扇情的な手法で読者に訴えかけるものが多い。(1)の問題の題材となっている代議制民主主義にとって重要な「熟議」や「妥協」という所為は、ネット媒体ではあたかも旧態依然たる政治の営みとして排斥されるものかもしれない。マスメディアが「オールドメディア」と揶揄され、インターネット媒体の情報が「真実」と語られる現下の状況で、わたしたちはインターネットが政治に及ぼす影響を冷静に見つめ直す必要がある。以上のような問題意識に基づき、(2)の出題となった。

⑨ 試験科目：英語（1部）

（試験問題）

次の英文では、出会い系アプリの普及によって恋愛の可能性が広がったにもかかわらず、独身や孤独が増加し、ジェンダー対立が先鋭化していることがスウェーデンのデータを基に述べられています。英文を読んだ上で、下記の問いに答えてください。

Who controls love: Men, women, or capital? At first, the question sounds [1] absurd. Love in the modern era is supposed to be the most personal of experiences, untouched by politics or economics. Yet in the age of dating apps, it has become one of the central battlegrounds of contemporary life.

Across the world, an increasing share of people find their sexual and romantic partners online. In Sweden, where we reside, the numbers are striking: one-third of those aged fifteen to thirty-four now date through apps, and nearly half say they have used the internet to look for a partner. [ア] Encounters that once took place in workplaces, friendship circles, or local bars are now displaced into digital arenas. However, what might seem like a widening of romance's possibilities has [2] coincided with a rise in singledom, both in absolute terms and as a share of the population. While some embrace singlehood as a positive choice, others experience it as unwanted loneliness, unable to find the intimacy they desire.

[イ] These frustrations have not stayed private. They have become politicized, fueling a new polarization between the sexes. On one pole are “incels” — men who define themselves as involuntarily celibate, convinced they are the losers in a sexual marketplace where women supposedly hold the power. Incels are part of the larger “manosphere,” marked by anti-feminism and misogyny, sometimes spilling over into deadly violence. On the other pole are women who have lost faith in heterosexual relationships altogether, echoing radical feminist claims that intimacy with men is inevitably structured by domination and objectification. In 2019, writer Asa Seresin described this turn toward disillusionment as “heteropessimism,” a concept that has since spread from academic blogs to lifestyle magazines.

Both positions remain minority ones, but many men and women express similar [3] sentiments. This highlights the explosive political force of unmet needs for sex and intimacy. Singleness, in this light, is not just an individual condition but a reflection of deeper social tensions.

(引用文献: <https://znetwork.org/znetarticle/dating-in-the-age-of-the-algorithm/>)

1. 下線部 [ア]、[イ]をそれぞれ日本語に訳しなさい。
2. 下線部 [1] の"absurd" と最も近い意味の単語を選び記号で答えなさい。
 - ①simple
 - ②ridiculous
 - ③serious
 - ④difficult
3. 下線部 [2] の"coincided " と最も近い意味の単語を選び記号で答えなさい。
 - ①concurred
 - ②violated
 - ③prevented
 - ④precedented
4. 下線部 [3] の"sentiments" と最も近い意味の単語を選び記号で答えなさい。
 - ①problems
 - ②secrets
 - ③skills
 - ④feelings
5. 著者は、孤独や異性との親密な関係を得られないことへの不満が「インセルincels」や「ヘテロペシミズムheteropessimism」といった立場として現れていると述べている。これらはそれぞれどのような不満や認識を背景としているのか説明しなさい。

(解答又は解答例)

1.

[ア] かつては、職場、友人同士の集まり、あるいは地元のバーで生まれていた出会いは、今ではデジタル上の場へと移行している。

[イ] こうしたフラストレーションは、もはや私的な領域に収まらなくなり、政治化し、男女の間の新たな二極化を加速させている。

2. ②

3. ①

4. ④

5. インセルは、本当は性的・恋愛関係を望んでいるのにも関わらず、不本意にも独身の状態にあると捉える男性たちである。その背景には、恋愛市場において女性が力を握っており、自分たちはそこから締め出された敗北者であるという認識がある。

一方で、ヘテロペシズムは、異性愛関係そのものに希望を失ってしまった女性たちの立場である。これは、男性との親密な関係は、男性の女性に対する支配や物象化（モノ扱い）を前提として成立せざるを得ない、という認識に基づいている。

（出題意図）

問題文について：Evelina Johansson Wilén, Maria Wemrell, Lena Gunnarsson らによる記事“Dating in the Age of the Algorithm”（December 19, 2025 Z Article）の一部を問題文としました。現代の恋愛において、男性・女性それぞれが異なる背景や理由で、異性愛的な関係に不満や不信感を抱くようになっており、それがジェンダー対立として表れてくることを論じています。解答にあたっては、著者らがどのような根拠や対比を用いて議論を組み立てているか、また特定の語句・表現をどのような意味で用いているか、文脈に即して正確に読み取る英文読解力が求められます。

1.は英文和訳の正確さ・適切さを問う問題です。本文の論旨を損なわないように内容を日本語として自然に再構成できることが求められます。

2.～4.は文脈に適した形で英単語の意味を推測する力を問う問題です。辞書的知識以外に、周辺の文脈・論理関係が手がかりとなります。

5.はキーワードを軸に、本文の議論の骨格を説明できるかどうかを問う問題です。内容理解・要約・対比整理の総合な力が求められます。